

2024年度 事業計画

2024年4月1日～2025年3月31日

<2024年度 事業計画>

(2024年4月1日～2025年3月31日)

<Vision>

「 広告業界の未来のために、 J A A A は広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる 」

2020年初頭からのコロナ禍も、2023年5月には感染症法上の分類が第5類へ移行され、ようやく社会経済活動・社会生活が活発に動きだし、失われた30年とも揶揄されていた日本経済も復活の兆しが見えてきました。一方で、コロナ禍で加速したいわゆる「NEW NORMAL」な生活スタイルの浸透は、生活者に大きな意識変容をもたらし、私たち広告業界の意識改革・ビジネストランスフォーメーションは待ったなしの状況を迎えています。

広告業界に対する逆風は、周辺業界での人権侵害問題などコンプライアンス違反・ガバナンス不足等の影響もあり終息が見えにくい状況が続いており、人材確保の観点も含め、あらためてコンプライアンスの徹底、社会課題へ真摯に向き合う姿勢とその役割を果たすことが求められていると痛感しています。

行政サイドからも、長く続いた日本経済の低迷から脱し、成長軌道を確認するものとするための矢継ぎ早の要請や、急拡大しているデジタル広告領域における規制面での協力要請が相次ぎ、社会生活・広告ビジネス双方に大きな影響をもたらす変化の1年となりそうです。

一方で、長引く国際紛争や高まる地政学的リスク、エネルギー・原材料コスト高騰からの物価高や不安定な為替の影響が、私たち生活者の不安を加速させていることに加え、広告主も同様に複雑に絡み合う環境下で変数の多い企業活動を余儀なくされ、あらためて、私たち広告業界が貢献すべき活動は非常に大きく、また期待され果たすべき社会的責任と使命は大変重いと考えています。

広告関係各団体・協会とのいっそうの連携強化を通して、「広告の価値と魅力」を高めてまいります。

<Action Plan>

1. 広告の拡張・新ビジネス創造への継続的なチャレンジ

DXはあらゆる広告ビジネスに影響を与え、従来のビジネスモデルも大きく変容しつつあり、広告そのものの定義・領域も拡張している。私たち広告業界は「クリエイティビティ」を持って、常に新たな価値の創造を追求している。従来の垣根にとらわれずに、新しい価値創造のアイデア・企画を提供していくチャレンジに終わりはない。会員社が協調し推進するポリシーや指針、共通の指標の策定などを通して、広告業界全体の「価値と魅力」の創造・向上を加速する。

2. 広告および広告業界の信頼と魅力回復にむけたガバナンス強化

昨今の広告および広告業界への逆風は、多様で柔軟な有望人材確保はじめ様々な面で私たちの活動

にネガティブな影響がでている。広告の持つ優れて素晴らしい機能・意義・役割をあらためて社会やそこで暮らす生活者に再評価・再認識してもらおう活動とその積極的な発信に努めたい。

コンプライアンス遵守は当然のこと、イノベーションを生み出す土壌となるDE&Iの推進や日々進化し拡張するテクノロジーへの対応ポリシーの策定、広告業界含めた日本の産業経済への貢献など、JAAAとして積極的に取り組み・発信していく。

3. 社会課題への取り組み強化と発信

2016年にスタートした「SDGs」は、私たち地球上に生きるすべてが協力し、2030年までに解決せねばならない17の目標を共有したもので、その多くは現時点でもまだまだ達成までの道のりは厳しいものがある。DE&Iの推進活動や日本アドタイザーズ協会・日本民間放送連盟と連携して推進する「字幕付きCM普及推進協議会」活動、脱炭素化の流れが私たち広告業界にもたらす影響や生成AIに代表されるAIテクノロジーがもたらすプラス面・マイナス面など、広告業界として向き合い協調して取り組むべき社会課題は山積している。これら、社会課題に応える広告業界の活動をさらに加速させていく。

<各委員会 事業計画>

◆ビジネス統括委員会（担当理事：神田橋 治 委員長：松本千里）

広告会社の経営合理化に関する諸問題を研究する。

1. 委員会活動

経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、CSR委員会、広告問題研究委員会からの報告を受ける。

2. その他

広告業界の課題を整理し意見交換やディスカッションを行う。

・経理委員会（委員長：長森秀樹）

1. 経理業務に関する情報交換、課題の検討、研究を行う。

2. 会員社に向けて、経理業務に関わる情報の発信を行う。

・情報システム委員会（委員長：奥村卓也）

情報システムに関連する情報交換を行い、共有できる情報を会員社に発信していく。

1. 委員各社の情報交換

①情報システムに関する定期アンケートを実施しその結果をJAAAレポートにて会員社へ報告する。

②直近の課題について委員各社間で情報共有を図る。

2. ワーキンググループの活動

環境の変化に対応し、既存のワーキンググループの活動も適時見直して活動対応を行う。

- ①Office 365 ワーキンググループ
- ②情報セキュリティ ワーキンググループ
- ③BCP ワーキンググループ

・法務委員会（委員長：長谷川雅典）

1. 法務関連問題への対応と会員社への情報発信
2. 広告法務セミナーへの対応・実施協力
3. 他の委員会・広告業関係団体との連携および情報交換

・制作取引委員会（委員長：沼澤 忍）

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクト等、他の委員会・団体との連携協力
2. 字幕付きCM普及推進協議会（構成3団体：日本アドバタイザーズ協会・日本民間放送連盟・日本広告業協会）への協力
3. 広告会社の制作取引に関する情報共有、意見交換、課題対応等

・営業委員会（委員長：木内伸雄）

広告会社の営業諸課題について、会員社営業セクションへの情報共有を行うとともに、各委員会の課題解決に際して会員社営業セクションからのフィードバックを行う。

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクト等、他の委員会・団体との連携協力
2. 広告会社の営業諸課題の情報共有、他団体との意見交換の実施

・著作権委員会（委員長：渡部秀人）

1. 日本アドバタイザーズ協会法規制セミナーへの講師派遣
2. JAAA会員社向けセミナーの実施
3. その他、勉強会・ヒアリングの実施等

・広告の機能と役割研究委員会（委員長：河原大助）

1. 前年度の企画・分析を行い、会員者に向けてナレッジ発信を行い、広告の価値向上を目指す。

・CSR委員会（委員長：宮坂隆行）

様々な社会課題・CSRテーマと、広告業界・広告との関わりを情報収集、発信する等の活動を行う。

1. ポスター募集
会員社に対しCSRテーマについて考える契機とするためのインナープロモーション展開としてポスター案等を募集する。
2. セミナー実施
「ダイバーシティ」「ジェンダー」「環境問題」「SDGs」等について、会員社のソーシャルテ

ーマに対する理解促進となるよう、セミナー実施を検討する。

3. 「広告人のためのCSRコミュニケーション入門」普及
2021年に発行した標記冊子の普及・促進に向けた活動を行う。

・ **広告問題研究委員会（委員長：北原利行）**

広告業に関わる国の施策に関わる課題の検討、研究を行う。

1. 官庁からの諮問等に速やかに答申できるよう官庁別担当制に基づき活動する。
2. 広告業に関わる情報交換、社会的な課題の検討、研究を行う。
3. 会員社に向けて、広告業界の新たな業務に関わる情報の発信を行う。

◆ **メディア委員会（担当理事：矢嶋弘毅　委員長：永井聖士）**

1. 広告メディアに関する研究
 - ①各委員会とプロジェクトによる検討
 - ②関係団体との意見交換
 - ・日本民間放送連盟との協力と連携
 - ・広告メディアに関する関係団体との協議
2. 広告メディアの課題への対応
 - ①各委員会による連携、及び横断対応

・ **テレビ委員会（委員長：相坂勇人）**

1. テレビ広告取引の研究
 - ①放送確認ワーキンググループ
 - ②有事ワーキンググループ
 - ③同時配信検討ワーキンググループ
 - ④テレビCM共同考査検討ワーキンググループ
2. テレビCM素材オンライン運用促進への取り組み
 - ①CM運行ワーキンググループ
 - ・民放連CM運行ワーキンググループと協調しCM素材オンライン運用推進
3. 字幕付きCM普及推進協議会（第10期、民放連主幹幹事局）への協力

・ **ラジオ委員会（委員長：木村直之）**

1. ラジオCM素材搬入基準改訂の普及促進活動
 - ①2024年11月の搬入基準適用に向けて、会員社を対象とした説明会等を実施する。
 - ②進行担当向けの書面作成
2. ラジオCM取引及び素材のデジタル化運用促進活動＜日本民間放送連盟と協働＞
 - ①「ラジオCM素材オンライン送稿システム」ラジオ業務の効率化を推進
 - ②「ラジオCM素材オンライン送稿システム」普及促進

・**新聞委員会（委員長：出光淑子）**

1. 新聞広告掲載確認調査の実施
 - ①第三者機関のモニタリング調査による掲載確認の実施
 - ②日本新聞協会加盟新聞社からの報告書の提出と日本アドバタイザーズ協会への報告
2. 新聞広告の価値向上

・**雑誌委員会（委員長：前川昌子）**

1. 雑誌広告の価値向上
 - ①雑誌広告の課題抽出と検討
 - ②関係団体とのセミナー開催等連携の検討等

・**交通広告委員会（委員長：青柳淳英）**

1. 関係団体との連携と情報交換
 - ①日本鉄道広告協会（JAFRA）との連携
 - ②関東交通広告協議会（11社会）との連携
 - ③日本アドバタイザーズ協会との連携
2. 交通広告の価値向上
 - ①交通広告の課題抽出と検討
 - ②交通広告セミナー等の検討
 - ③OOH新共通指標策定プロジェクトとの情報共有

・**インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）**

1. デジタルマーケティング領域における広告会社のプレゼンスアップ
 - ①外部イベントへの参画
 - ②セミナー等の企画、実施
2. インターネット広告に関する情報収集とナレッジシェア、その他課題への対応について
 - ①デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）への運営参画
 - ②海賊版サイトへの対応
 - ③各ガイドラインの見直し

・**メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）**

1. メディア調査・メディアソリューションに関する研究・対応
 - ①視聴率調査
2. 統合指標に関する研究

・**メディア業務改善委員会（委員長：井上 聡）**

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクトの運営・実施
2. CMオンライン普及プロジェクトによる実務調整
3. オンライン運用のステークホルダーに対する対応

4. 放送確認書デジタル化の計画・検討
5. その他業務改善の具体的検討
6. 日本広告業協会内の各委員会との連携

・ **CM素材オンライン運用推進プロジェクト（リーダー：井上 聡）**

1. CM素材オンライン運用推進プロジェクトの活動
 - ①普及促進活動
 - ②ステークホルダーへの対応
2. 新課題への対応
 - ①「次世代CMDeCo」へのリプレース完了に向けて運用方法改訂準備
 - ②広告EDIセンターとの連携による課題対応
 - ③オンライン送稿の普及が進んだ事による、更なる業務効率化の検討

・ **OOH新共通指標策定プロジェクト（リーダー：三池 元、高橋隆晃）**

1. OOHの質的価値の探求
2. 日本版OOHメジャメント検討準備委員会の運営

◆ **クリエイティブ委員会（担当理事：菊地英之 委員長：能登健裕）**

クリエイティブ関係者の資質向上とクリエイティブに関する研究、情報交換等を目的に以下の活動を行う。

1. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞
 - ①2023年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の表彰
 - ②2024年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の募集及び審査員の推薦・承認
2. クリエイティブ講演の開催
クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者の講演などを通じて、クリエイティブの力を世の中にアピールすると同時に、業界のクリエイティブ力強化と、業界若手の育成を推進する。
3. クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の見直し
引き続き、賞と選考（規約、体制）のあり方等の見直しを実施する。

◆ **マネジメント委員会**

傘下の8つの事業委員会や一部ビジネス統括委員会傘下の委員会委員長と必要に応じて人材・働き方・社会課題テーマなど会員社のコーポレートガバナンス・業界全体のマネジメント課題を共有し、議論を行う。

・ **人材育成委員会（委員長：太田理奈子）**

1. 第51回新入社員教育セミナー
日 程 2024年4月2日（火）～4月5日（金） 9時30分～16時30分（4日間）
形 式 ハイブリッド形式（1日目～3日目は、講義Zoom配信
4日目はグループディスカッションを機械振興会館にて実施予定）

参加費 44,000円（1名税込）

内 容 ・主なテキストとして「広告ビジネス入門（第24版）」を使用
・グループディスカッションのテーマに
「5年後の広告業界をより発展させるアイデアを考える。」
・グループごとに発表

2. 第29回フォローアップセミナー

日 程 2024年10月～11月、2日間予定

3. 对学生へのアプローチ、マスメディアン等他団体との連携

4. その他

- ①上記以外のセミナーを検討する。
- ②各種イベントへの講師派遣は依頼に基づいて適宜対応する。

・ **広告ビジネス入門発行委員会**

1. 「広告ビジネス入門」第25版について

2024年9月の発行に向けて、編集方針と執筆担当を見直し確認を行う

・ **懸賞論文委員会（委員長：宇賀神貴宏）**

1. 第53回懸賞論文

①表彰式

日 時 2024年5月31日（金） 定時総会・表彰式

②入賞・入選作品集の発行（JAAAレポート臨時増刊号）

発行日 2024年5月31日（金）

③広報施策

- ・ウェブサイトを受賞者個人ページを作成、公開
- ・ウェブサイトファイナリスト作品（PDF）掲載
- ・金賞受賞者の論文要旨をアドタイに掲載、12月の会員代表者懇談会での講演

2. 第54回懸賞論文募集

①募集要項

- ・募集部門 『論 文』 課題 Beyond Advertising
『私の言いたいこと』一般部門、新人部門、プレゼン動画部門
- ・募集期間 2024年6月3日（月）～9月30日（月）
- ・審 査 2024年10月中旬開始

②応募の促進

- ・SNS「論文委員のつぶやき」
- ・エントリー説明会の実施
- ・論文受賞者座談会 他

・ **海外交流委員会（委員長：高橋 修）**

1. 海外研修団の派遣企画

- ・会員社のニーズに合わせた研修ツアーの派遣と実施
 - ・テーマ、目標などを検討の上、研修派遣を行う。
 - ・2023年度派遣を行った「スパイクスアジア2024」を軸に研修派遣を企画する。
2. 海外セミナーの企画と実施
- 目的 海外広告界動向の知識を得ること
- 概要 海外広告関係者を講師としたウェビナーの企画、開催
- 開催 年数回の開催を予定
- スピーカー 海外交流委員会委員、会員社海外支社担当者、会報「ワールド・アド・レポート」執筆者等
3. 海外広告関係団体への協力
- ①海外広告関係団体主催の国際会議や広告祭等の会員社への周知協力
 - ②アドバタイジングウィーク・アジア（東京）への協力

・ **イノベーション委員会（委員長：高崎敦士）**

1. 「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」についての運営
- ①第11回本賞の発表及び表彰
 - 発表予定日 2024年4月1日（月）
 - 発表内容 審査結果、審査講評、本賞についての提言等
 - 発表媒体 JAAA REPORTS 4月号、JAAAウェブサイト、他業界紙誌
 - 受賞施策への伝達、特典の授与・送付等
 - ②第12回本賞の募集と審査
2. 広告業のあり方、業界活性化のための施策を検討

・ **PR委員会（委員長：山崎正道）**

広告・広告業界の魅力を、業界外に対してPRし、その価値と役割の理解促進を図る。また、活動を通じて多様な人材確保や流出防止等にも寄与することを目指す。

1. 広告・広告業界のPR
- ①「広告の広告」によるPR活動
 - ・新聞社、雑誌社への掲載協力依頼
 - ・活用範囲の検討
 - ・2025年度原稿の制作
2. 協会広報活動
- ①協会のPR活動
 - 協会オウンドメディア（会報・JAAAウェブサイト・SNS）を活用した広報企画の検討

・ **会報編集委員会（委員長：高澤正行）**

本年度も前年度に引き続き「JAAA REPORTS」を毎月発行する。委員会の活動や研究内容を会員社を中心に随時報告していく。また、会員社からの執筆や、広く各社のトピックスを紹介するなど、より多くの会員が参加できる機関誌を目指す。会報のウェブ移行についても、シリーズ企

画をウェブ記事として掲載しつつ、次年度以降の方針を固める。

1. 発行規模

- ・形態 冊子：B5判 表紙共16ページ程度
ウェブ記事
- ・発行日 冊子：毎月1日
ウェブ記事：各シリーズ月1回
- ・部数 3,500部
- ・配布先 会員社、各地区広告業協会、関係団体、広告学会・広研、業界紙誌、官公庁、掲載誌、保存
- ・表紙デザイン 読売広告社

・DE&I委員会（委員長：口羽敦子）

以下の3点を目的として、広告業界内のアクション（インターナル）と、別業界／対外的なアクション（エクスターナル）の2つに分けて、DE&I推進に向けた活動を実施する。

1. 業界の成長（広告人全員活躍。多様性なくして中長期における成長はない）
2. 生活者への責任（本業界の影響力を正しく把握した行動が求められる）
3. ステークホルダーへの説明（広告業界・各社への評価、レピュテーション）

◆運営委員会（委員長：戸田裕一）

理事会への提出議案及び協会運営に関する事項について検討を行う。

・入会資格審査委員会（委員長：大塚尚司）

入会希望会社の入会資格審査を随時行う。

・財務委員会（委員長：曾我有信）

半期決算案・年度決算案および年度収支予算案について検討する。

・吉田秀雄記念賞選考委員会

吉田秀雄記念賞選考を行い、定時総会後の贈賞・表彰式にて贈賞を行う。

・役員選挙管理委員会（委員長：丹羽信一）

役員候補者（任期2年）選挙の対応を行う。